

平成30年度 阿賀川大規模氾濫に関する減災対策協議会 議事概要

1. 日 時 平成30年4月19日(木) 14時30分～16時00分

2. 会 場 阿賀川河川事務所 1階会議室

3. 出席者

■構 成 員

会津若松市	市長(代理:市民部長 目黒 只法)
喜多方市	市長(代理:生活防災課長 五十嵐 慎)
会津坂下町	町長 齋藤 文英
会津美里町	町長(代理:くらし安心課長 坂内 隆一)
湯川村	村長(代理:総務課長 鈴木 定)
福島県危機管理部災害対策課	課長 友 敏光
福島県土木部河川計画課	課長(代理:主幹兼副課長 芳賀 英幸)
福島県会津若松建設事務所	所長(代理:企画管理部長 西澤 建司)
福島県喜多方建設事務所	所長(代理:主幹兼企画管理部長 矢澤 敏幸)
福島地方气象台	台帳 中村 雅碁
阿賀川河川事務所	所長 柳 正市

4. 議 題

1) 幹事会の報告

(1) 規約の改正について

(2) 「水防災意識社会 再構築ビジョン」に基づく阿賀川流域の減災に係る各機関の取組について

2) 話題提供

(1) 洪水警報の危険度分布とその利用について(福島地方气象台)

3) その他

(1) ハザードマップポータルサイトについて

(2) 危機管理型水位計について

(3) 浸水ナビについて

5. 議事概要

1) 幹事会の報告

(1) 規約の改正について

・阿賀川河川事務所より

改正水防法に基づく「大規模氾濫減災協議会」へ移行等を目的とした規約の改正案について説明し承認を得た。

(2) 「水防災意識社会 再構築ビジョン」に基づく阿賀川流域の減災に係る各機関の取組について

・阿賀川河川事務所より

平成30年度事業概要、阿賀川河川事務所の主な取組状況について説明

- ・県、福島地方気象台、市町村より
水ビジョンに関連する取組の実施状況の報告について各機関から説明

【構成員からの主な発言内容（目的達成に向けた現在までの取組状況や課題等について）】

＜福島気象台＞

- ・自治体等に対してより丁寧な説明をしていきたいと考えており、気象台ではホットライン対応を設けており 24 時間対応しているので、ホットラインを通じて色々相談いただければ気象台で答えていきたい。
- ・自然災害の規模の大小に応じて担当者レベルでの対応、あるいは管理職同士での対応、特別警報のような数十年に一度の大きな災害に対しては市町村長へ気象台長より直接実際の状況について説明させていただく事を考えている。

＜会津若松市＞

- ・災害が発生した際にいかにして市民へ情報を伝えるか、市民の危機意識をいかに高めるかが課題となっている。現在、携帯やスマートフォンに直接プッシュ型で情報を送れるように市民登録に取り組んでいるところであるが、なかなか進んでいない。
- ・自主防災組織を作るということで、町内会単位で働きかけているが、市内 506 町内会中、設立したところは一箇所のみである。これもいかにして組織化に繋がれるかが課題となっている。
- ・説明会や出前講座など様々実施しているが効果が上がらない。皆さんから意見をいただければありがたいと感じている。特に水の関係は阿賀川の上流にはしっかりと大川ダムがあり、住民はほぼ絶対安全だと認識しているところを、そうではないと思わせる工夫、知恵や考え方などを伺えればと思っている。

＜福島県災害対策課＞

- ・自治体の自主防災組織の立ち上げや住民の危機意識の向上は非常に大変であると理解している。災害事例等を住民の皆さんに知っていただき繰り返し発信していくしかないと思われる。例えば今まで災害が起きたことがなくても、今般起きた土砂災害では、当然崩れないと思っていた部分が実は土砂災害の警戒区域の中だったり、今まで水が上がらなかったところが予想外の水量により都市型の内水にあったり、そういった災害が全国各地で起こっている。また、最近の例では、一昨年の岩手県での福祉施設の豪雨災害により犠牲者がでるなど、想定外の事例など多くある。我々としては繰り返しそういう事例等を発信して意識を高めていくということが必要である。
- ・福島県では自主防災組織の支援事業を行っており、自主防災組織として組織化されていなくても町内会で防災に関する活動に取り組みたいという希望などあった場合には、講師派遣をさせていただいている。災害の恐さや想定外の災害は起こり

うると住民にお知らせしながら、意識を変えていただくしかないと思う。

<阿賀川河川事務所長>

・阿賀川の関係では近年、体験者が少なくなっているというところが一番の課題であり、共通のところであると思われる。例えば3年前の鬼怒川破堤も似たようなところもあると思われ、色んなところでまさかという事もある。国や県、各自治体での事例や取組など共有するための情報発信を事務局から皆さんへ提供していきたいと考えている。

6. 話題提供

・洪水警報の危険度分布とその利用について
福島气象台より、記載事項について説明。

7. その他

- (1) ハザードマップポータルサイトについて
事務局より、取組内容を説明。
- (2) 危機管理型水位計について
事務局より、取組内容を説明。
- (3) 浸水ナビについて
事務局より、取組内容を説明。
- (4) 防災教育について
事務局より、取組内容を説明。

以上を踏まえ、協議会構成員で協力して取組方針に基づき引き続き取り組んでいくことを確認した。